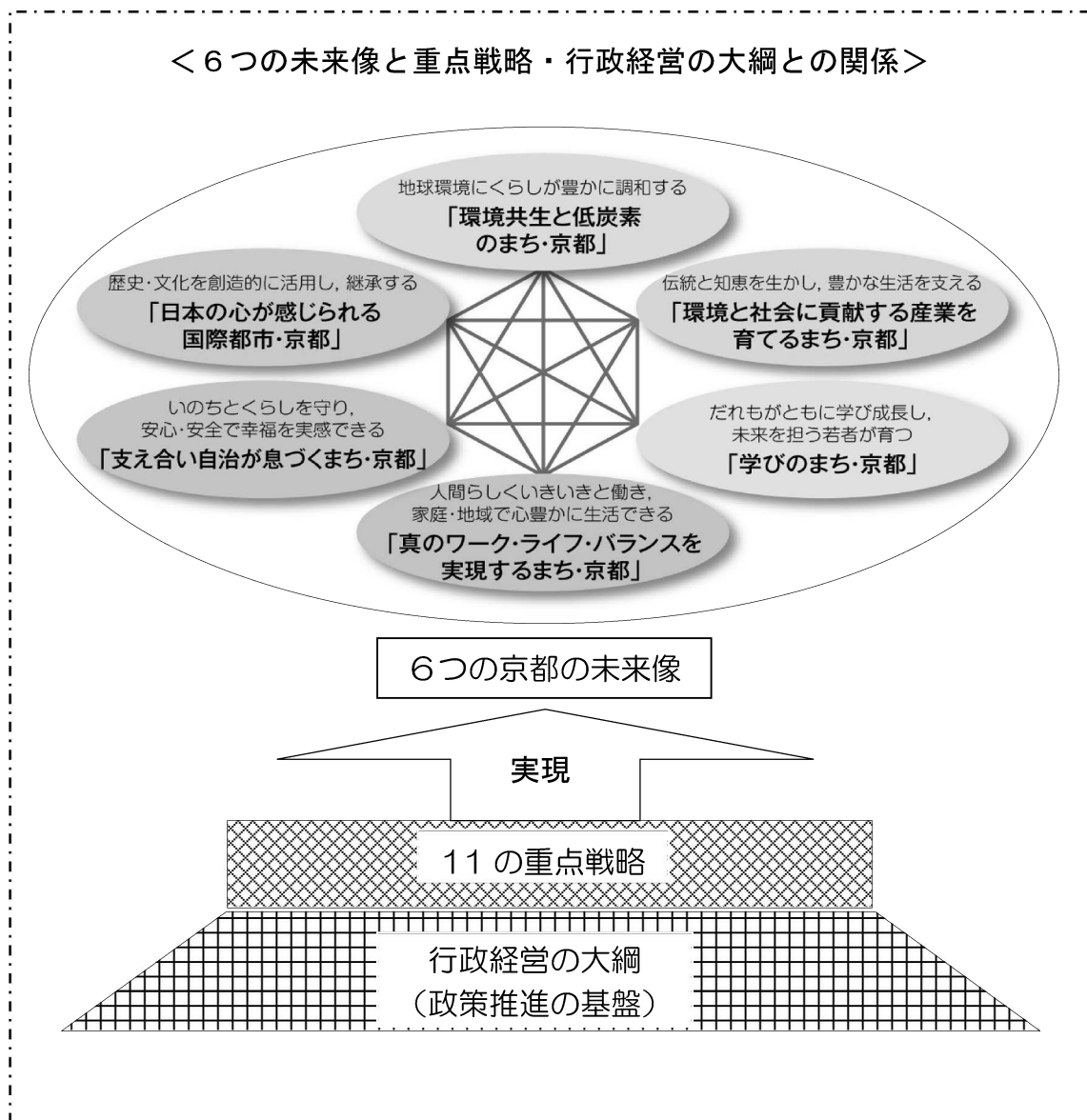


# I 「はばたけ未来へ！ 京プラン」後期実施計画について

## 1 「はばたけ未来へ！ 京プラン（京都市基本計画）」について

本市では、平成 11 年 12 月に策定した「京都市基本構想」を具体化する第 2 期の基本計画として、平成 22 年 12 月に市会の議決を得て、平成 23 年度から 10 年間の都市経営の基本となる「はばたけ未来へ！ 京プラン（京都市基本計画）」（以下、「京プラン」という。）を策定しました。

策定に当たっては、徹底した市民参加の下、丹念で深い議論を重ね、10 年後に目指すべき京都の姿として 6 つの「京都の未来像」、そして未来像を実現するために特に優先的に取り組むべき 11 の「重点戦略」、更には、政策推進の基盤となる行政経営の方針である「行政経営の大綱」を練り上げ、掲げました。



## 2 後期実施計画の位置付け

本実施計画は、京プランに掲げる「京都の未来像」の実現に向けて、重点戦略及び行政経営の大綱を一層推進するため、京プランの計画期間後半期に取り組む具体的な事業等を示すものです。

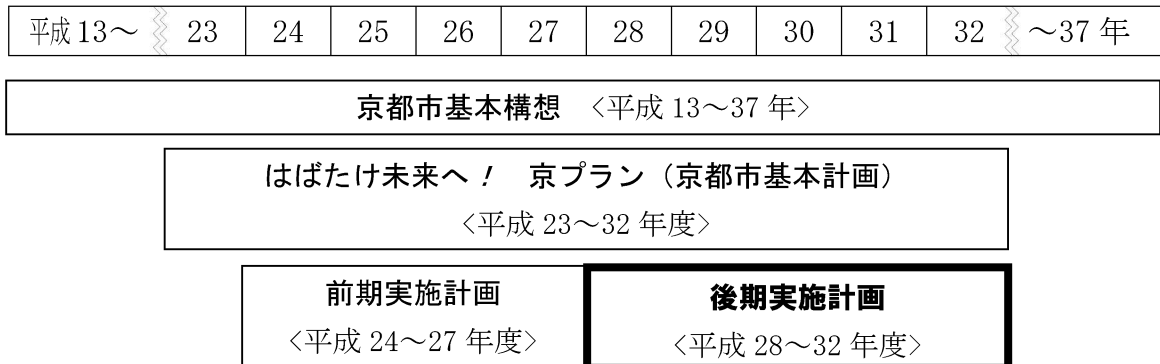
平成 24 年 3 月に策定した「はばたけ未来へ！ 京プラン」実施計画（以下、「前期実施計画」という。）の後継計画に位置付けています。



### 3 計画期間

京プランの計画期間の後半に当たる平成 28（2016）年度から平成 32（2020）年度までの 5 年間の計画期間とします。

#### ＜基本構想，基本計画，実施計画の計画期間＞



### 4 後期実施計画の構成

#### I 「はばたけ未来へ！ 京プラン」後期実施計画について

計画の位置付けや計画期間など、計画のあらましを記載しています。

#### II 後期実施計画策定に当たっての考え方

前期実施計画の総括及び京プランの更なる推進に向けての課題と基本的な考え方を記載しています。

#### III 持続可能かつ機動的な財政運営の確立に向けた取組目標

本市財政の現状と今後の展望，本計画期間中のめざすべき姿，毎年度の予算編成における目標及び中期財政見通し等を記載しています。

#### IV 政策編 －「重点戦略」の推進－

11 の重点戦略ごとに，具体的な事業を掲げています。

#### V 改革編 －「行政経営の大綱」の推進－

行政経営の大綱に掲げる 4 つの基本方針ごとに，具体的な取組を掲げています。

## 5 「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」総合戦略との関係

後期実施計画には、平成 26 年度に設置し、審議を行った第三者機関「京都市基本計画点検委員会」から、「人口減少社会への対応」等を大きな視点として示された答申を踏まえつつ、京プランに掲げる「京都の未来像」の実現に向けた、「市政全般の幅広い分野にわたる施策・事業」を掲げています。

一方、平成 27 年 9 月に、京都市版地方創生の指針として策定した「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」総合戦略（以下、「京都創生総合戦略」という。）には、「人口減少社会の克服・東京一極集中の是正」のために「特に先導的・重点的に取り組む施策・事業」、及び市民取組提案募集にいただいた「市民・事業者等の皆様主体の取組」を掲げました。

このように、後期実施計画と京都創生総合戦略は、「人口減少社会への対応」という課題に関して相互に密接につながり、重なり合う関係にあり、後期実施計画には、下記イメージ図のとおり京都創生総合戦略のうち「行政が推進する施策・事業」、「市民・事業者等の皆様との共汗の取組」を全て盛り込んでいます。

また、「京都創生・お宝バンク」の仕組み\*を更に発展させ、募集する提案を、人口減少の克服を目指す取組だけでなく、まちづくり全般に拡大する「“みんなごと”のまちづくり推進事業（仮称）」として後期実施計画に盛り込んでいます。この仕組みを、多くの市民・事業者等の皆様に積極的に活用いただくことを通じて、市民と行政が、京都のまちの様々な課題を「ひとつごと」ではなく、「自分ごと」、「みんなごと」としてとらえて協働するまちづくりを進めます。

※ 人口減少の克服を目指す取組提案を市民、地域、企業等から登録し、ホームページで公開して、提案の実現につながる情報や協力の申出を広く募集。また、お宝バンクに登録した取組提案者と、行政や企業、NPO、大学等との連携をコーディネートする。

＜後期実施計画と京都創生総合戦略との関係イメージ＞

